

## 専門試験（農業）

[例題 1] 肥育牛の病気に関する次の記述のうち誤っているのはどれか。

1. 肥育牛の死亡や廃用となった原因を病気の類別に見ると、消化器病・呼吸器病・循環器病が全体の 63% を占める。
2. 肺炎は体力の衰えたときに感染しやすく、また重篤になりやすい。心不全は心臓の疾患による急死で、これには細菌の感染による敗血症や、壊死性腸炎による突然死も含まれるといわれている。
3. 肥育牛では発育を高め、脂肪蓄積をうながすために濃厚飼料の多給となり、直接的あるいは間接的に栄養上の原因で発生する疾患が多い。
4. 鼓張症は、第 4 胃内で発生するガスが、おくび（ゲップ）としてうまく排せつされないことによりおこる。
5. 蹄葉炎は、慢性的なアシドーシスにより、第 1 胃内細菌が溶けて毒素が放出され、それが四肢の毛細血管に作用し、神経を刺激するために生じると考えられている。

正答 4

## 専門試験（農業）

[ 例題 2 ] ブドウの栽培上の特性や品種に関する次の記述ア～エの正誤をいずれも正しく示しているのはどれか。

- ア．ブドウには、用途別に生食用・ワイン用・ジュース用・干しブドウ用とがあり、日本では生産量の約 50% が生食用で、次いでワイン用である。
- イ．多雨・多湿の日本では、ブドウは枝が徒長しやすい。それに加えて、季節風や台風による風害が起こりやすいので、日本のブドウ栽培は主に棚仕立てにより行われている。
- ウ．ブドウは、ほかの果樹に比べて環境適応性が強く、日本では東北から九州まで広く栽培されている。特に収穫期に降雨が少なく、日照時間が長く、土壌は肥よくで比較的 pH の高い地域がよい。
- エ．1975 年頃の日本の主要品種はデラウェア・キャンベル・アーリーが中心であったが、最近ではそれらは減少し、大粒系で品質のすぐれた巨峰・ピオーネ・甲斐路などが増加し、品種の多様化が見られる。

	ア	イ	ウ	エ
1．	正	正	誤	正
2．	正	誤	誤	誤
3．	誤	正	正	誤
4．	誤	正	誤	正
5．	誤	誤	正	正